



世界に希望を生み出そう

2023～24 年度国際ローター・テーマ
RI 会長:ゴードンR.マッキナリー (スコットランド)

鹿屋西ロータークラブ週報
WEEKLY REPORT
NEWS
<http://www5.synapse.ne.jp/Kanoya24/>
ROTARY 第2088回



サクラ [精神の美、優美な女性]

◆相模原南 RC ご来訪	[歓迎会] 5月12日(日) 18:30～料亭義経	[二次会] パームス
	[例会] 5月13日(月) 12:00～13:00	昼食 13:00～

2024年4月01日

◆会務報告

- 環境月間 リソースのご案内
- 令和6年能登半島地震 支援金報告
- クラブ創立10周年記念式典・祝賀会のご案内
(2730 ジャパンカレントローターEクラブ)
日時: 令和6年6月23日(日) 開会 11:00
会場: 都城ロイヤルホテル
- 令和6年度鹿屋市国際交流協会総会の開催について (ご案内)
日時: 令和6年5月10日(金) 総会 18:30～
講演 19:00～ (JICA 協力隊 田中様)
懇親会 19:30～
場所: ホテルこばやし
- 「第25回エアーメモリアル in かのや」へのご案内について
日時: 令和6年4月28日(日) 11:00～
場所: 海上自衛隊鹿屋航空基地 第3格納庫前エプロン
- グラフかごしま vol.553
- 週報 …………… 志布志 RC

◆4月誕生者祝



園田泰治さん、遠矢達一さん

◆4月メモリアルデー祝



野田敬一さん、鶴丸秀治さん、中間いく代さん

◆出席表彰



王谷英仁さん
(5年皆勤)

入会式



野添幸祐さん (職業奉仕委員会・親睦委員会)
椎本康弘さん (職業奉仕委員会・親睦委員会)


次回プログラム	
4月15日(月)	
卓話者:	鹿屋西RC受賞者
担当委員会:	社会奉仕委員会
3分間スピーチ:	滝本 まゆみ さん
会員数	(40)44名
出席報告出席数	30名
出席率	75.00%

メイクアップ情報	
鹿屋	04月11日 (水) ホテルこばやし
かのや東	04月10日 (木) かのやクラブホテル
串良	04月08日 (月) セントロ大隅 観桜家族会 18:30～
志布志	04月09日 (火) 大黒本店 第2週 例会無し
きもつき	04月09日 (火) 高山温泉ドーム
南九州大崎	04月11日 (木) セントロランド
志布志みなど	04月10日 (水) 志布志市文化会館 第2週例会 19:30～

鹿屋西ロータークラブ

会長: 前田 数郎
副会長: 遠矢 達一
幹事: 梅北 健一

例会日 月曜日 12:30～13:30
例会場 ホテルさつき苑 TEL:40-1212
事務局 〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10
ホテルさつき苑内 TEL:44-5811 FAX:41-1959
E-mail kanoya24@po5.synapse.ne.jp



会長の時間

会長 前田数郎さん

皆様お疲れ様です。

いよいよ、4月に入りました。プログラムのペーパー一年を振り返っての文字も記載される様に成りました。昨年の今頃、どうなる事やらと心配していましたが皆様のご協力で何とか成りそうです。私の会長卓話も後わずかですので後、少々お付き合いよろしく御願ひ致します。

また、本日の会長卓話の前に皆さんに一言、御願ひを申し上げます。

5月11日～13日まで姉妹盟約を締結しました相模原南ロータリークラブご一行19名が我がクラブに来訪される事が決定しました。

参加者の中には100歳を迎えられました黒河内さんも親子で参加されます。

また、昨年、本年度も相模原南ロータリークラブ会長は女性の方が務めています。そのお二人もご参加の様です。当クラブの女性会員の皆様にとっても良い情報交換に成るのではと考えています。

メインは5月12日18時30分～義経での歓迎会、翌13日の鹿屋西クラブ例会の参加と成ります。各担当の方で割り振りをして頂き5月11日よりゴルフ、魚釣り、そして2次会、鹿児島空港へのチャーターバスによる送迎等など担当して頂いています。5月12日18時30分～義経での歓迎会、翌13日の鹿屋西クラブ例会には当クラブの皆様は全員参加で歓迎をしたいと思ひます。

梅北幹事の方から出欠の回覧が回っていますので是非参加でのご記入をよろしく御願ひ致します。今後、詳しくは担当の原田親睦委員長よりお話が有ると思ひますが、鹿屋西クラブとして恥ずかしくないお出迎えをしたいと思ひますのでご協力よろしく御願ひ致します。

それでは会長卓話に入ります。

3月29日自衛隊「春の集い」が鹿屋海上自衛隊で開催されました。当クラブより私と鶴丸エレクト、遠矢副会長の3人で参加して来ました。

厳重な警備の中、体育館へ通され正面に国旗、旭日旗が貼られ各部隊の隊旗が並ぶ舞台が設置され、会場には約200名位の参加者で全国各地より参加されている様でした。ラッパ隊の演奏、行進で始まり隊員の皆さんに接待して頂きました。そうそうたる参加者の中、前列のテーブルに座席が準備されロータリークラブ会長の社会的位置付けが高い事を認識させられました。

時間が有る様ですので前回御話しました雑談の続きをお話します。



- 無期懲役の実刑判決を受けた人は、平均30年で出所している。
- ゆず胡椒にコショウは入っていない。
- 日本三景松島の有名な句「松島や ああ松島や 松島や」は、松尾芭蕉が詠んだものではない。
- 北極よりも南極の方が断然寒い。冬場の平均気温にはマイナス30度近くの差がある。
- 南極ではどんなに寒くても人が風邪をひくことはない。(あまりの寒さでウイルスが存在していないため。)

時間が来ましたので以上で会長卓話とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



会員卓話

北山 勉さん

ロータリーでは、最近「DEI」がRI会長方針に掲げられるほど注目されています。企業に於いては、ダイバーシティ(人材の多様性)の重要性が以前から指摘されていますが、その先駆的企業でも「DEI」を掲げて、さらに推進する動きが広がっているようです。

ステージアップを目指している企業であるパナソニックグループの例が日本経済新聞に取り上げられていました。分かり易い内容となっていますので、紹介させていただきます。

パナソニックグループは2021年に人材戦略の方針となるDEIポリシーを定めた。DEIとは企業経営において、社員それぞれが持つ多様な個性が最大限に活かせることがより高い価値創出につながるという考え方。「D」はダイバーシティ(多様性)、「E」はエクイティ(公平性)、「I」はインクルージョン(包括性)の頭文字で、中でも力を注ぐのがE(公平性)の実現だ。

どう働きたいのか、仕事で何を成し遂げたいのか——社員一人ひとりの思いと事情は異なる。「子育てのために在宅勤務したい」「親の介護のために地方の実家から働きたい」「他社でも力を試してみたい」。挑戦する機会を公平に与える意思をEに込めた。

様々な社員の要望に応えられるよう、グループ9社は昨年以降、フルリモート勤務や副業解禁、週休3～4日制、1日の最低労働時間の撤廃など多様な働き方を各社の事情に合わせて積極的に採用している。

改革対象は働き方にとどまらない。昨年からグ



グループ全体で管理職昇格試験の見直しにも取り組む。試験は事前準備に時間を要し、育児中の社員などは上司から勧められても受験を避ける事例があった。それが女性管理職登用の遅れにつながっていると考えた。

パナソニックコネクトは昇格試験を廃止し、ジョブ型雇用に切り替えた。人事総務本部の菊池文香さん(33)は7月に マネジャー(課長)昇格を控える。20年4月に長男を出産、子育てに追われる日々だ。「試験に備える余裕はなく、同年代の昇格を脇から見ていた」。だが制度変更でチャンスが巡ってきた。職務記述書に基づき、課長にふさわしい人材だと昇格が決まった。

パナソニック HD の盛山光戦略人事部長は「『E』にはこれまでの自省も込めている」と説明する。10年に「女性かがやき本部」を設置し、女性活躍からダイバーシティ施策は始動した。その後、外国人やシニア、障害者、LGBT などの性的少数者などに裾野を広げてきた。ただ成果は十分とはいえない。例えば22年の女性管理職比率は5.4%にとどまる。

20年目を迎えるに当たり施策を改めて議論した。米国で DEI が広がっていると情報を得た。個々の違いに合わせて機会を公平に提供してこそ多様性は実現するという考えだ。「これまでの施策に足りなかったものをみつけた」(盛山部長)

個性を尊重する職場風土を醸成するためにアンコンシャスバイアス(無意識の偏見)研修を全グループ社員を対象に昨年始めた。パナソニックの高木桂子さん(51)は110人いる指導役の一人だ。これまで約300人の社員を指導した。

「ほとんどの社員はアンコンシャスバイアスも DEI も聞いたことがない。でも事例を交えて説明すると自分のこととして徐々に理解してもらえ」と手応えを感じている。

多様な人材が組織にただ存在するだけでは競争力強化につながらない。それぞれが個性を発揮し、刺激し合うことで初めてダイバーシティは効果を発揮する。そんなゴールに向けて、20年を経てもパナソニックグループの試行錯誤は続く。

創業者の松下幸之助は経営理念に「社員稼業」「自主責任経営」を掲げた。社員一人ひとりがより良い方向、より良い視座を考え抜き、挑戦し、高い結果を出していこうという考えだ。

これは言葉こそ違いますが、今日のダイバーシティ経営に通じる理念だ。原点に立ち戻り、社員一人ひとりが生きる経営を実践していきたい。

そのカギが DEI だ。なかでも「E=公平性」が会社の競争力にとっても大事。画一的なルールを適用すると仕事で挑戦できない社員が出てくる。挑戦機会を公平に提供すれば、働く個人は力を発揮できキャリアをつなげる。その積み重ねは会社の強みになる。



◆スマイル報告

(7件)

- 年男祝記念品を家庭集会参加の折に受け取りました。ありがとうございます。…………… 黒松
- 結婚祝いありがとうございます。43年になります。今後ともよろしくお願いします。…………… 野田
- 出席表彰ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。…………… 王谷
- 誕生日祝い有難うございます。…………… 園田
- 北山さん、先日の家庭集会ありがとうございます。奥様の手料理とても美味しくいただきました。…………… 山崎(隆)
- 誕生祝の品ありがとうございます。…………… 遠矢
- メモリアルデーありがとうございます。結婚記念日でした。すっかり忘れておりました。調べたら41年経ったようです。年が経つのは早いです。… 鶴丸
- 本日のニコニコBOXスマイルは2,733円です。

本日計 20,000円 累計(一般) 316,000円
(財団) 106,899円 (米山) 80,934円

***** ありがとうございました *****

ロータリーニュースより

**「鉄の肺」の中で70年間生きた
ポール・アレクサンダーさんを偲ぶ**

米国テキサス州出身で、人生の大半を「鉄の肺」の中で生きたポール・アレクサンダーさんが3月11日、78歳で亡くなりました。アレクサンダーさんは1952年、6歳の時にポリオに罹患し、首から下がまひして自力で呼吸ができなくなりました。法律の学位を取得し、司法試験に合格し、一時はダラスで弁護士として活躍しました。また、短い期間でしたがロータリーEクラブの会員でもありました。

ポリオを患い、「鉄の肺」の中で生きている人なら、ロータリーのことを知っているだろうと思うでしょう。しかし、ポール・アレクサンダーさんの場合、自分の体をまひさせたポリオの根絶にロータリーが取り組んでいると知ったのは、今年初め、テキサス州のダンカンビルでのあるビジネス会合で、一人のロータリー会員と知り合った時でした。

「ポリオを根絶する」という考えに圧倒されました。これまで長年、ロータリーのこの活動について知らなかったんです」と、ダラスの弁護士アレクサンダーさんは話します。「まさに自分にふさわしい団体だと思いました」